

【 北海道における花きの振興について 】

## 北海道における花きの振興について

昨年 7 月、第 2 回定例道議会において、花き産業の持続的発展及び道民の豊かで健康的な生活の実現への寄与を目的とする『北海道花きの振興に関する条例』が審議のうえ制定・公布され、花きの振興に関する施策が推進されてきたと認識しているところです。

一方、4 月から 3 度目の国の緊急事態宣言の発令により、切り花の価格が再び下落したことが報じられております。

条例における施策の取組方針など、花き生産、流通、消費の現状と課題、今後の対応について伺います。

### 1 条例の制定とその後の動きについて

『北海道花きの振興に関する条例』においては、道は、花きの振興に関する施策を総合的に推進し、道民や花きの産業事業者との連携に努めるものとしている。道は、条例が制定された後、どのような対応をしてきたのか、伺う。

(答弁：園芸担当課長 藤田眞美子)

・冷涼な気候を活かした水田転作作物、道央や道南を中心に拡大し、面積は平成 13 年の 1,200ha をピークに減少傾向、令和元年は 700ha。

- ・生産額は、平成10年の163億円をピークに減少、29年から130億円を維持。
- ・大部分を占める切り花は産出額が全国3位、7割を7月から9月に生産、関東・関西に出荷され、夏の主産地として国内の市場から高く評価されている。
- ・価格については、昨年春は需要が減少し、2割下落。夏場は回復し、1月には緊急事態宣言後に下落。3月には回復していることから、道産花きへの大きな影響は生じていない。
- ・今後の需要と価格動向について注視していく必要がある。

## 2 新型コロナウイルス感染症の影響について

本道の花き生産の動向や全国における位置づけ、また、昨年以来のコロナ禍での影響について伺う。

(答弁：園芸担当課長 藤田眞美子)

- ・生産と流通段階での課題としては、スマート農業・作業の省力化。資材や輸送コストの低減。気象災害への対応。花の品質保持などがあげられる。
- ・道は、『北海道花き振興協議会（生産・流通・販売19団体

で構成)』と国の事業を活用し、これまで、ハウスの自動開閉装置の導入、共同輸送などの実証に取組み、今後、低コストで効率的な切り花の通年生産、新たな鮮度保持装置の導入実証とその普及により、道産花きの安定生産に向けて取組。

### 3 生産・流通に関する課題とその対応について

コロナ禍の影響は、今後も注視していかなければならないが、本道の花きの振興にあたり、生産及び流通の段階にはどのような課題があるのか、また、課題に対して、道はどのように対応しているのか伺う。

(答弁：園芸担当課長 藤田眞美子)

・消費段階の課題として、需要を拡大していくためには、従来の業務需要・イベント需要に加え、日常使用による「消費を増やしていくことが重要。

・花に親しむ機会の拡大、道産花きを活用する機運を高める必要がある。

・道は、『北海道花き振興協議会』と取組、札幌市内・旭川駅周辺での花きの展示のほか、小学校・視覚支援学校の生徒・働く人対象の花育体験など、本年からは、地産地消と更なる

消費拡大に取り組む。花のサブスクリプションの導入、  
『HOKKAIDO+1』ロゴマークの、のぼりやポップ、パン  
フレットに産地名を表示。

#### 4 消費に関する課題とその対応について

花きについては、生産や流通だけでなく、消費の拡大を図ることも重要と考  
えるが、その消費に関して、どのような課題があり、道は、どのように対応してい  
くのか、伺う。

(答弁：生産振興局長 新井健一)

- ・条例の目的は、花き産業の持続的な発展、道民の豊かで健  
康な生活の実現。道や道民、花き産業事業者の役割を明示し、  
道の施策の基本事項と花きの振興施策を定める。
- ・8月7日は『北海道花の日』として、道民の花きに対する  
関心と理解を深めることとしている。
- ・対応として、昨年度『HOKKAIDO 花でつなごうプロジェ  
クト』において、花き6万6千本使用。新千歳空港・札幌地  
下歩行空間などに大型アレンジメント展示。
- ・パンフレットを作成、『条例制定』と『花の日』を広くPR。

- ・本年3月、『北海道花き振興計画』を策定。
- ・道は、積極的に情報提供し、各種メディアで取り上げ、SNSで発信し、道産花きへの関心の喚起に努めてまいる。

## 5 今後の取組について

『北海道花きの振興に関する条例』の制定や、条例に基づく『北海道花き振興計画』を踏まえ、本道の花きの振興に向けて、今後、道としてどのように取組んでいく考えなのか、伺う。また、条例において設けた8月7日の『花の日』が定着するよう、どのように取組んでいくのか、併せて伺う。

(答弁：農政部長 宮田 大)

- ・地域農業の振興においても重要な作物であり、人々に潤いと安らぎを与え、豊かで健康な暮らしをもたらすもの。
- ・北海道花き振興計画では、花きの安定生産と経営安定、流通の高度化や輸送の効率化、道産花きへの理解醸成と活用促進、文化振興による需要拡大など、生産者や関係団体、市町村と連携し、花き振興の取組を進める。
- ・北海道花の日は、語呂合わせ、出荷最盛期のPRに効果的、今年は、オリンピックのマラソンの開催日であるため、赤レ

ンガ庁舎前庭に道産花きのプランターを設置するほか、大規模な花のディスプレイを展示する予定。

- ・『花の日』を中心に、本道花きの一層の振興に努める。